

夢と志を育てる学園

玉手山学園 広報

2017.5 SPRING-SUMMER

巻頭 理事長あいさつ

高校新校舎竣工と大学開学20周年

だから *Tama Project 2017* そして新たなチャレンジ!

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 入学式・入園式特集
- 卒業式・卒園式特集
- 大学・短大 北欧研修旅行
- Tama Project 2017*
～「高校新校舎竣工」「大学開学20周年」～
- 短大 保育フェスタ「第15回定期演奏会」
- 短大 韓国 春海保健大学訪問
- 幼稚園 生活発表会
- 幼稚園 定期演奏会
- 幼稚園 消防出初式
- 高校 スポーツ大会
- 高校 保育進学コース卒業公演
- 高校 クラブ活動報告
- 花見 学園一般開放
- 玉手山学園は進化・成長をめざします!
～関西女子短期大学附属幼稚園が進化します～
- 学園をもっと知ろう!(第3回)
～江端文行名誉理事長の熱い思い～
- ニューフェイス
- 大学・短大 オープンキャンパス「顔スタッフ」研修
- 高校 新校舎「高校本館」完成



建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

巻頭 理事長あいさつ

高校新校舎竣工と 大学開学20周年



だから *Táma Project 2017* そして新たなチャレンジ!

皆さん ようこそ!
高校新校舎竣工と大学開学20周年の *Táma Project 2017*

学生・生徒・園児(以下、学生と称す)、教職員の皆さん、玉手山学園に“ようこそ”、私たちは「仲間」です。学園を愛し、生涯の友と出会い、この街に親しみ、豊かな学園生活を送られることを願っています。おかげさまで2017年は高校新校舎が竣工、大学は開学20周年を迎えました。この感謝と喜びを、みんなで共有するため、8月27日(日)に「玉手山学園祭」(学園初の試み)を開催します。出店やアカデミックブース(学園専門力の見せ所)、高校新校舎見学、スクーリング、キッズフェスタ、お楽しみ抽選会など、一人でも多くの人(街の人にも)に来てもらい、学園力(元気さ)を楽しんでもらいたいと思っています。みんなで楽しめれば学園(学生、教職員)も成長できます。それが *Táma Project 2017!* All玉手山で始動、実践します。



大学20th 沖縄県出身の学生達(H28.11)も同様な年齢

0～5歳の一貫教育に新たなチャレンジ 街の役に立てれば 街に若者を

学園の使命は「人を育てる」ことです。「良質の教育を長時間、0歳から」という社会のニーズに応えるために、学園の幼稚園は平成30年4月、「認定こども園」に進化・成長する予定です。従来の“Kanjo”幼稚園の教育に一層磨きをかけ、さらに0歳児からの長時間保育機能を加えるというものです。社会のニーズに応え、子供たちを育てやすい街にしたいと願っています。0～5歳の一貫教育は、とても大切であり責任重大です。幼稚園教職員は新たなチャレンジをし、教育人として一層の成長をめざします。新棟も現園舎の近傍に建築します。お楽しみに!

夢と志を育てる 本気、夢中になる

学園は学生・教職員が各々の「夢」に近づくために自分を磨き伸ばすところです。その夢が“バク(架空の生き物)”に喰われないようにするために「志」が必要です。「夢と志」は色々な感動・感謝の体験で育っていきます。この学園に来たら元気・やる気が出てきた、夢中になれるものが見つかった。そんな学園をめざしています。



関西女子短期大学 定期演奏会(H29.2) ダンスに夢中

“感動・感謝の場” そして“やってみよう”を大切に

その“感動・感謝のプログラム、機会、場”を提供する、それが学園です。「やってみよう!」という気持ちを大切に、その一歩を進めてください、実践してください。もちろん成功を望みます、しかしトライしての悔しさや涙も必ず成長につながります。学生の皆さんの一番の宝物は「若さ」、“怖いもの知らず”です。「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分」**“Where there’s a will , there’s a way.”**「意志あるところに道は拓ける!」さあ、“やってみよう!”

高校新校舎にデジタルサイネージ(電光掲示板)

高校新校舎の北東面にデジタルサイネージ(電光掲示板)が設置(今夏までに)されます。学生や外来者など、多くの人目に大きな絵や文字が飛び込んでくるでしょう。学園の様々な情報やメッセージを発信していきます。学園生活の利便性向上はもちろん、学生や教職員が元気になる、見るのが毎日の楽しみになる、そんな“学園の名物”になることを期待しています。



高校新校舎にデジタルサイネージ 学園の情報を豊かに共有

建学の精神「感恩」 ありがとう そして 笑顔、あいさつ、優しさを大切に

最後になりましたが学園は創設75周年、建学の精神は「感恩」です。学園で多くの“ありがとう”に出会い大切にしてください。笑顔、あいさつ、優しさも豊かな心・人格の出発点です。難しく考える必要はありません、実践しましょう。豊かな学園生活を祈念いたします。

恩 感

理事長・学園長 江端 源治



入学式・入

大学入学式

4月3日、入学宣誓式が挙行され、学部689名、大学院14名が本学に入学しました。

式典では、手話部学生が歓迎の手話コーラスを披露、また新しい試みとして、本学大学生活の楽しさをムービーで放映するなど、新入生の新たなスタートに花を添えました。

八田学長による式辞では、「“見たいものだけを見る”、“知りたいことだけを知る”といった姿勢をこの4年間は控えめにして、自分が苦手な人との付き合いやあまり関心が持てない事柄にも積極的に関わってほしい」と激励の言葉が贈られました。



短大入学式

4月1日、第53回入学宣誓式が執り行われ、新入生342名(保育学科、養護保健学科、医療秘書学科、歯科衛生学科)の新入生が関女の一員として第一歩を踏み出しました。

大嶋学長より、「貴女方が行なうすべてのことが貴女方自身の責任になり、それがすべて貴女たちの人としての評価の対象になります。周りの大人たちは、貴女方の日頃の行動や言動を聞いて、貴女方がどのような人間であるのかを常に評価しています」と新入生への期待が述べられました。

入学生の皆さんの大学生活が、実り多きものになりますよう、教職員、力を合わせて全力でサポートしていきます。



園式特集



高校入学式

4月8日、期待に胸を膨らませた新入生を祝福するような満開の桜に迎えられ、高等学校入学式が行われました。

新入生324名は、これから始まる高校生活に全力で取り組む決意をあらたにし、特進IIコースの中村圭佑君が力強く新入生宣誓をしました。

これから何事にも積極的に取り組み、学校生活を充実させてほしいと思います。そして、周りのことも考えられる思いやりの心をもった生徒に成長できるよう、教職員一同、一緒に頑張りたいと考えております。



幼稚園入園式

「はじめまして」

園庭の桜が満開になった4月7日、年長2名、年中8名、年少115名の新入園児を迎えて入園式が行われました。

保護者と手をギュッとつないで門をくぐり、初めての教室、靴箱、ロッカーそして担任の先生との出会いにドキドキわくわくの子どもたち。今日から「幼稚園に行く」という大冒険が始まります。先生や友達とかかわりながら園生活を楽しめるよう、教職員一同が、ひとりひとりの子どもの成長に寄り添うことを大切に、頑張っていきたいと思ひます。



卒業式・卒園式特集

大学卒業式

3月22日、卒業・修了証書学位記授与式が
挙行されました。学部503名、大学院10名、
専攻科1名の計514名が門出を迎えました。
式場は、色とりどりの袴や真新しいスーツを
身にまとい、笑顔を輝かせた卒業生で埋め
尽くされ、華やかで厳かな雰囲気になって
いました。



式終了後は、学科ごとに学位記授与や卒業記念パーティが行われました。卒業生は、友人や先生と記念撮影をする等、大学生活最後の1日を満喫していました。

短大卒業式



3月18日、春の訪れを感じる心地よい気候の下、第53回
卒業証書・学位記授与式が挙行されました。保育学科112名、
養護保健学科49名、医療秘書学科53名、歯科衛生学科
115名、合計329名が夢と希望を胸に巣立ちました。

2年間で学んだ知識と技能、共に学び支えあった友情を
大切に社会で大きく羽ばたいていくことを祈念しています。

高校卒業式

2月25日、315名が卒業しました。保護者の方々から、
「笑顔が絶えることなく、子どもが『なりたい自分にな
る』ための3年間でした」との労いのお言葉を頂戴いた
しました。第69期生が次のステージで更に大きく成長して
いくと信じ、また、自分の人生を切り開くとともに、「感恩」
の精神で誰かの力になるものと確信しています。



幼稚園卒園式



3月16日、学園記念講堂にて幼稚園の卒園式を行いま
した。

大きなホールでいっぱいの人たちの中を歩く子ども
たちの姿はまた練習とは違った緊張感のある姿でした。

沢山のご来賓の方々や保護者の方々からの温かい拍手
に包まれ、無事に年長児118名を送り出す事が出来まし
た。これからの子どもたちの成長を心より願っています。

平成28年度 関西福祉科学大学・関西女子短期大学

北欧研修旅行のご報告

大学 社会福祉学科 清原 舞



オーデンセ市・幼稚園にて
福笑いに園児は興味津々



オーデンセ市・高齢者センターにて
ベッドの使い方について説明を真剣に聴く学生たち



オーデンセ市・国民学校の生徒との
交流風景

平成29年3月7日～3月13日、関西福祉科学大学・関西女子短期大学の学生19名と引率教員2名(保健医療学部・前田留美子准教授、社会福祉学部・清原舞助教)が参加し、デンマーク・フィンランドへ北欧研修旅行が実施されました。

デンマークでは、オーデンセを訪れ、「世界一幸せな国」の現場を視察しました。まず幼稚園では、子どもたちの歓迎の歌で出迎えられ、「グーチョキパーで何作ろう」のメロディーに合わせ、日本語版を紹介し、子どもたちと折り紙や福笑いを一緒に楽しみました。国民学校(小・中学校)では、13歳から16歳までの生徒と一緒に昼食を取り、学内を案内していただき、授業風景も見学させていただきました。学生たちは大阪弁を教えたり、アニメの話をしたり、国際交流を深め、日本の教育現場との違いに驚いていました。また、高齢者センターでは、広い施設内を見学し、高齢者福祉の現場について学びました。さらに、オーデンセ市障害・高齢福祉課にてデンマークのリハビリテーションについての講義や、オーデンセ市スクール・カウンセラーによる講義を受け、日本との違いや気づきについてより具体的に学びを深めることができました。

オーデンセでの視察研修を終えた後、コペンハーゲンに向かい、自由にショッピングや観光を楽しみ、物価の高さからも高福祉の現実を実感しました。その後、フィンランド・ラップランド地方ロヴァニエミに行き、サンタクロース村の観光や、希望者でオーロラ・ハンティング・ツアーに行きました。今年は観測証明書も発行してもらい、学生たちにとって、非常に思い出深い、充実した研修となりました。

高齢者センターでも実体験した、デンマークの「平等」の考え方、「ケーキは欲しい人が欲しい分だけを取る」ということも忘れずに、これからの学生生活にも活かしてほしいと思います。私自身も学生の皆さんと一緒に行って非常に楽しかったです。最後になりましたが、準備からサポートして下さった関係者の方々に心より感謝致します。



オーデンセ市・国民学校の授業の様子を見学



オーデンセ市・国民学校の生徒と
思い思いに交流する学生たち



コペンハーゲン観光
北欧神話に由来するゲフィオンの泉と聖アルバニ教会にて



フィンランド・ロヴァニエミ
サンタクロース村にて



3月13日 無事に関西空港に到着



北欧研修旅行報告会
(H29.3.15 理事長室)

Táma Próject 2017より、 楽しいイベントのご案内

～「高校新校舎竣工」・「大学開学20周年」記念事業～

法人本部 経営企画室 後藤 知寛

2017年、関西福祉科学大学は開学20周年を迎え、関西福祉科学大学高等学校の新校舎が竣工しました。この喜びを、少しでも多くの皆さまと共に分かち合いたい。そんな思いから、玉手山学園はみんなが楽しめるプロジェクト“*Táma Próject 2017*”をはじめました。

本学の大学生・短大生・高校生・園児・保護者・地域住民の皆さまはもちろん、その他どなたでも参加できる企画が盛りだくさんですので、ぜひ参加いただき、楽しんでください!

< Táma Próject 2017 企画を一部紹介 >

※今後、状況に応じ内容変更の可能性があります。

※未定の事項に関しては決まり次第、特設サイト等にて告知します。

企画
その1

玉手山学園祭

～みんなが参加できるオープンフェスティバル～

日程 8月27日(日)

時間 昼～夕方頃を予定

場所 玉手山学園敷地内

楽しいイベントをたくさん予定しています! (画像はイメージです。)

① 出店・屋台



美味しい“飯が”
食べられる屋台♪

② こどもが楽しめる縁日コーナー



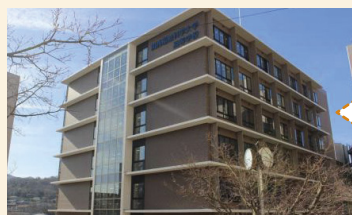
スーパーボール
すくいやヨーヨー
釣りなど、
こどもの
遊び場♪

③ 大学の体験型コーナー



大学で
学んだことは、
社会にどう役立って
いるんだろう?

④ 高校新校舎の内覧会



ピカピカの
新校舎の
中を見学♪

他にも楽しいコーナーがあります! ぜひ遊びに来てください!

企画
その2

関西福祉科学大学 社会福祉学科 開設20周年記念特別講演会



テーマ

障害のある人もない人も ともに暮らせる社会をめざして
～障害者差別解消法の施行を追い風に～

講演者: 玉木 幸則氏

(西宮市障害者総合相談支援センターにしのみや センター長)
(NHK大阪放送局Eテレ「みんなのためのバリアフリー・バラエティ「バリバラ」」に
レギュラー出演するなど、タレントとしても活躍されています。)

日程

7月1日(土)

時間

13:30～終了時間未定

場所

関西福祉科学大学

企画
その3

関西福祉科学大学20周年記念・ 教育学部開設記念講演会



テーマ

スマホやネットいじめと子どもたち

講演者: 竹内 和雄氏

(兵庫県立大学 環境人間学部 准教授)
(著書「スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」など、スマートフォン時代に関する
書籍を出版されています。)

※開催日時・場所は、特設サイトでお知らせします。

企画
その4

Tama Project 2017 特設サイト

特設サイト内に色々な企画の紹介
をしています。面白いコンテンツも
用意しますので、是非ご覧ください。



URL: <http://www.tamapro2017.jp>



みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

(本件の問い合わせ先) 法人本部 経営企画室 後藤(代表番号: 072-978-6661)

保育フェスタ「第15回定期演奏会」を終えて

短大 保育学科 福間 久美

会場となった柏原市リビエールホール、まずお客様をお迎えしたのは保育学科2年生制作のステレン版画。色鮮やかに思い思いの表現を楽しんだ作品が展示されていました。

そして、ホールいっぱいに響き渡る和太鼓の鼓動で幕が上がり、一気に高揚した雰囲気の中、保育学科1年生、合唱講座受講者、附属幼稚園年長組園児の歌声が温かさを加えました。

2年生は短大生としての最後の演奏会です。和太鼓アンサンブル、ダンス、ピアノ演奏、それぞれのパフォーマンスで、仲間とともに学んだ成果を十分に発揮し、見事な演奏が続きました。私たち教員は、学生たちの成長と大きな可能性に感銘を受け、嬉しい気持ちに溢れました。

このすばらしい時を一緒に過ごした1年生は、1年後の自分たちの姿を思い浮かべ、実りある学生生活を過ごしてくれることでしょう。



展示



附属幼稚園年長組園児合唱



ピアノ演奏



1年生合唱



ダンス・パフォーマンス



和太鼓アンサンブル



春海保健大学(韓国)の 教員と学生のみなさんが本学を 訪問されました。

大学 学生支援センター 横山 学

2月3日(金)、韓国の春海保健大学、言語リハビリテーション学科学生4名と歯科衛生学科学生9名が来学されました。

春海保健大学は、韓国南部、蔚山広域市にあり、看護学科、歯科衛生学科、作業療法学科、言語リハビリテーション学科など、医療技術者養成を目的とした、全学生数が約3,000人規模の私立の専門大学です。

冒頭、江端理事長・学園長よりパワーポイントを使用しての学校案内とご挨拶をいただき、本学教職員の案内のもと、全員で大学4号館と短大7号館の施設見学を行いました。各施設では、様々な質問があり、いずれの施設も新しく、素晴らしいとの驚きの声が続々と上がっていました。

見学後は、歯科衛生学科学生有志手作りのお菓子のおもてなしがあり、そのお菓子を食べながら、各専攻に分かれて学生交流会を行いました。

交流会では、敢えて通訳を付けずに学生だけの席も設定しました。同年代の学生同士、各専攻の内容、将来の夢、日本のアニメ等、言葉は異なるものの、スマートフォンの翻訳アプリを使うなど、積極的に会話を楽しんでいました。

言葉が充分に通じなくても「相手のことを知りたい、相手に伝えたい」という強い想いによって、相手に理解してもらうための工夫が生まれます。事前準備の大切さや、相手を思いやる優しさがコミュニケーションには重要である事を学ぶ貴重な経験になったものと思います。





「頑張ったね、発表会」

幼稚園 平岡 教子

2月18日、19日の両日、学園記念講堂で生活発表会を行いました。

生活発表会は一年間の集大成、子どもたちの大きな成長を感じていただける行事のひとつです。

毎年発表会では各学年、クラスごとに劇や合奏、合唱に取り組みます。子どもたちは冬の寒さに負けず元気いっぱい練習に取り組んでいました。自分で決めた楽器に期待を持ち、ワクワクしながら取り組んでみたら思ったよりも難しかったり、友達と合わなかったり。劇遊びでは最初恥ずかしくて大きな声でセリフが言えないこともありました。そして毎日みんなで頑張っていて、迎えた当日、子どもたちは期待と興奮でキラキラと目を輝かせて登園してきました。舞台ではどの子どももみんな元気いっぱいに演じたり歌ったりする姿を見せてくれました。

保護者をはじめ、ご来場いただいた方には寒い中ご足労いただき、子どもたちのために温かい応援をしていただきありがとうございました。子どもたちの心の中にいつまでも残ることと思います。





定期演奏会



幼稚園 川崎 紅実

2月25日(土)に短期大学保育学科の定期演奏会があり、リビエールホールの大きな舞台上で年長組が合唱をさせていただきました。お姉さんのカッコいい和太鼓の演奏を見て、子どもたちの「カッコいい!」「あんなに大きな太鼓を打つのはたいへんやろうな…」と話す姿が見られました。自分たちの出番が近づくにつれて「緊張するけど、頑張る!」「うまく歌えるかな…」と不安と期待の気持ちがある様子で、歌い終わると「ドキドキしたけれど、楽しかった!!」とホッとした表情を見せてくれました。大きな舞台上に立ってみんなで歌えたことが自信につながり、小学校に向けてまたひとつ大きくなれた一日でした。

このような素敵な舞台上で合唱させていただき、ありがとうございました。



出初式「頑張れ!消防隊!!」



幼稚園 木村 友美

3年前から参加している新年の始動開始となる出初式。今年も参加させていただくことが決まり、行進や水の出る消火器での消火活動の練習をしました。初めて消火器を使うので戸惑ったり、上手く使えなかったりしましたが練習を重ねるうちに上手になり、誇らしげな顔で消火活動する姿が見られるようになりました。

そして迎えた本番当日。子どもたちのカッコいい姿をぜひ見ていただきたいのですが、雨が降り出してしまい、園児の出演は中止となりました。しかし、一生懸命頑張った姿を保護者の方にぜひ見ていただきたいということで、年長組の参観日で披露することになりました。法被を着てヘルメットをかぶった子どもたちはとてもうれしそうに参加してくれていました。

本来の出初式には参加できませんでしたが、保護者の方には立派なちびっこ消防隊の姿を見ていただけたと思います。



高校スポーツ大会を行いました

高校 足立 匡

平成28年度のスポーツ大会は、2月に4会場に分かれての実施ということで、例年とは違う形態で開催されることになりました。当初インフルエンザによる欠席や気温の心配などありましたが、当日はそんな心配も吹き飛ばすような熱気で溢れていました。

1年生の大縄では、クラスみんなで数をかぞえ、綱引きでは男子が女子を、女子が男子をそれぞれ応援し、みんな必死になって声を掛け合い頑張っていました。

2年生のバレーボールは、今年も総合体育館と第二体育館に分かれて実施しました。バレーボール部や運動部の生徒が中心になり、ひとつのボールをクラスみんなで必死に繋いでいました。アタックが決まると会場全体も盛り上がり、みんなで喜びを分かち合っていました。

クラスみんなで協力し合いながら体を動かし、冬の寒さも吹き飛ばすスポーツ大会になりました。



高校 保育進学コース 卒業公演

高校 中村 陽平



昨年に続き2期生の卒業公演が、去る1月21日(土)に記念講堂にて盛大に行われました。2学期から準備をしてきましたが、公演の演目には演劇、和太鼓、ダンス、ピアノなど盛りだくさんの内容でした。その中でも演劇発表は全員参加でどれも見てたえがあり、3年生32名を3班に分け、趣向を凝らした演劇を生徒たちの力で考え出しました。

関西女子短期大学の先生には総合保育実習の時間において演技の指導をもらい、造形表現の授業においては舞台に必要な大道具や小道具の制作を行いました。2学期は学校行事も多く、何より進路決定の大切な時期のため、生徒は大忙しでしたが、最後の学校生活の思い出を悔いの残らないようやり遂げるために一生懸命取り組んでいました。

発表の時期が迫ってくると緊張感や焦燥感からクラスメイト同士で衝突することもありました。しかし、クラス全員での合唱では、3年間に様々な課題をやり遂げた達成感や安堵感で涙があふれていました。当日は土曜日ということもあり、多くの保護者また関係者の方に自らの輝いている姿を見せることができ、生徒たちもうれしかったことだと思います。

保育進学コースのほとんどの生徒が、保育関係への進学を決めており、本校で学んだ様々な技術や心構えを基盤に次の進学先で活躍してくれるものと信じています。

公演最後のクラス代表の謝辞では教員、保護者への言葉と後輩たちへの激励の言葉もありました。後輩たちは先輩に負けないよう切磋琢磨し、充実した3年間を送ってください。



平成28年度 クラブ活動報告

高校 小森 泉

前号に引き続き、各クラブの活躍をお知らせします。

関西福祉科学大学高等学校

大阪高等学校総合体育大会 女子 総合成績第6位!

本校の女子体育系クラブの年間成績が、大阪府下すべての私立・公立高校の中で第6位となり、総合入賞校として表彰を受けました。



日本拳法部

- 第63回大阪私学中学校高等学校体育大会
団体 男子:3位 女子:3位
- 第71回大阪高等学校総合体育大会
団体 女子:準優勝 個人 男子:準優勝 女子:5位
- 第15回大阪高等学校秋季日本拳法新人大会
兼 第21回全国選抜大会団体予選
団体 男子:準優勝 女子:準優勝
男女とも全国選抜大会に出場決定 (3月25・26日 大阪市)
- 第21回西日本高等学校日本拳法選手権大会予選リーグ
団体 男女とも決勝に進出 (4月23日 大阪市)
- 第21回全国高等学校日本拳法選抜大会 大阪代表選考会
個人 男子:5名予選通過 女子:3名予選通過
- 第21回全国高等学校日本拳法選抜大会
団体 男子:3位(優秀選手1名選出される) 女子:出場
個人 男子:準優勝、3位、5位 女子:3位

バドミントン部

- 第21回全国私立高等学校選抜バドミントン大会
学校対抗の部 男子:48位
- 第71回大阪高等学校総合体育大会バドミントン競技の部
学校対抗の部 男子:3位 女子:3位
3年生ダブルス 女子:優勝 男子:準優勝、3位
3年生シングルス 女子:優勝 男子:優勝、3位
- 第63回近畿高等学校バドミントン選手権大会大阪府予選会
ダブルス 男子:1組 女子:3組
シングルス 男子:1名 女子:1名
成績優秀につき近畿大会に出場決定
- 第63回近畿高等学校バドミントン選手権大会
10年連続出場
- 全国高等学校選抜大会大阪府予選会
学校対抗の部 男子:3位 女子:3位
- 第45回近畿高等学校バドミントン団体選手権大会
学校対抗の部 男子:17位 女子:10位

なぎなた部

- 第71回大阪高等学校総合体育大会なぎなた競技
団体の部:2位 個人の部:優勝
- 第29回大阪私立高等学校なぎなた大会
団体の部:2位 個人の部:優勝 演技の部:優勝
- 第71回国民体育大会なぎなた競技
団体の部:出場 演技の部:出場
- 第29回近畿高等学校なぎなた選手権大会大阪府予選会
団体の部:3位 個人の部:3位
- 平成28年度新人大会兼全国高等学校なぎなた選抜大会大阪府予選
団体の部:2位 個人の部:2位
- 第29回近畿高等学校なぎなた選手権大会出場
団体・個人とも惜敗
- 第12回全国高等学校なぎなた選抜大会出場決定
個人の部 (3月19・20日 兵庫県伊丹市)
3回戦敗退

卓球部

- 第69回大阪高等学校新人卓球大会
学校対抗の部 女子:ベスト8
シングルス 女子:ベスト16(2名)
ダブルス 女子:ベスト8(1組) ベスト16(2組)
- 第31回近畿高等学校新人卓球大会
女子 ベスト16
- 第71回大阪高等学校総合体育大会
学校対抗の部 女子:3位

美術・漫画研究部

- 第65回大阪私学美術展(大阪私学中学校高等学校芸術文化祭典)
工芸部門:奨励賞2点
テーマ部門:奨励賞1点
イラスト部門:奨励賞1点
- 第37回大阪府高等学校芸術文化祭 美術・工芸部門(コンクール展)
工芸分野:優秀賞1点 入選2点
優秀賞1点は第37回近畿高等学校総合文化祭
大阪大会に出品決定(11月14~19日 大阪市)

『花見 学園一般開放』を 開催しました!

法人本部 地域連携センター 中井 松時



平成29年度地域連携公認プログラムに認定された『花見 学園一般開放』を4月1日(土)～4月4日(火)の4日間、地域の皆様に学園内の桜をご覧頂く予定で広報かしわらにも掲載していただきましたが、今年は開花の時期が遅れたため急遽4月6日(木)まで開放期間を延長させていただきましたところ、柏原市長をはじめ延べ220名の方々にご来園頂きました。

本プログラムは昨年度大変ご好評を賜りましたので、本年は地域連携公認プログラムとして開催させていただきました。昨年度との違いは短大茶道部によるお抹茶のお手前、高校吹奏楽部が演奏を披露し、花見とあわせて地域の方々に楽しんでいただく内容となりました。

また理学療法専攻の学生による、転倒予防のバランス測定会実施や、ダンスイベントなど、多くの学生の協力を得ることができました。

今回の花見を通して、地域の皆様に玉手山学園をより知って頂くことができたと共に、今回参加協力してくれた学生も普段の練習の成果を地域の皆様に披露する機会を頂くなど、素晴らしい6日間となりました。これからも引き続き地域の皆様に喜んでいただけるよう、様々な企画を検討して参ります。



玉手山学園は進化・成長をめざします!

～関西女子短期大学附属幼稚園が進化します～

法人本部 経営企画室 植田 陽

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」「種の起源」を著したチャールズ・ダーウィンの有名な言葉です。玉手山学園は進化(成長)の歩みを決して止めることはいたしません。短期大学新校舎(7号館)建設、大学新学部(教育学部・心理科学部)開設、高等学校新校舎建設に続き、幼稚園が認定こども園(注)に進化しました。「認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園」の誕生です。愛称は「**Kanjoこども園**」とします。ぜひ親しんでください。

現在待機児童が社会問題のひとつとなっています。そのような社会要請に応えることももちろん理由のひとつですが、玉手山学園はもっと前向きです。この街に若者を、子どもたちをと、今までの幼稚園に保育園の良さを取り入れ、一步先に行く、より良い教育・保育に挑戦するのです。ひとつの例ですが、現在は満3～5歳の3年一貫保育ですが、新園では0～5歳の5年一貫教育に挑戦します。どんな子どもに育てることができるのか、責任の重さを痛感するとともに、とてもやり甲斐を感じています。しかし50年以上の歴史を誇る幼稚園の良さを失うことは許されません。現在の良いところをそのまま継承し、さらに良くするため「幼稚園型認定こども園」とすることにいたしました。

移行にあたっては、学園のチャレンジ精神「やってみよう」と幼稚園教職員の理解とやる気が原動力です。0～5歳の一貫教育は、とても大切であり責任重大です。幼稚園教職員は新たなチャレンジをし、教育人として一層の成長をめざします。移行にあたり新棟を建設する予定で、来年にはお目見えします。当学園幼稚園が柏原市で第一号の認定こども園となります。

ますます進化する玉手山学園が「夢と志を育てる学園」の実現に向けてまた新しい一步を踏みだしました。



保護者説明会 約140名参加(2月23、24日) 関心の高さがうかがえる

(注)認定こども園 幼稚園と保育園のふたつの機能を合わせ持った施設。0～5歳児の保育園と3～5歳児の幼稚園の子どもたちが、一緒に遊び、学びながら生活します。

理事長所感

学園の使命は「人を育てる」ことです。“良質の教育を長時間、0歳から”という社会のニーズに応える。

“Where there's a will, there's a way.”「意志あるところに道は拓ける!」

恩 感

理事長・学園長 江端 源治

学園をもっと知ろう!(第3回)

～江端文行名誉理事長の熱い想～

法人本部 経営企画室 植田 陽

今回は第2回を受けて、学園の底流に今も流れる名誉理事長の熱い想いについてお話をしたいと思います。現理事長江端源治氏の父親にあたる江端文行名誉理事長は学園の中興の祖であり、私たちがめざす「夢と志を育てる学園」に大きな影響を与えました。名誉理事長の熱き想いは、「学生・生徒・園児ファースト」です。今でこそトランプ大統領(アメリカファースト)や小池都知事(都民ファースト)などが〇〇ファーストと声高に叫んでいますが、名誉理事長はそれよりずっと以前(1976年理事長就任)からこの考え方を実践されてきました。

最初に掲げたのが「全学園の同一敷地内での運営」です。これは自然環境に恵まれたキャンパスで学生・生徒・園児が連帯感を持つことによる有形・無形のプラス効果を考慮したうえの結論でした。また充足志向から充実志向に変化しつつある学生気質を見逃さず、鋭さを増した学生の感性や快適さへの願い、さらにはくつろぎやゆとりへの志向に応えるため、建物、施設、設備の整備には常に気を配ることも忘れませんでした。最近では短大7号館(平成27年)、今年オープンした高校本館、また来年完成予定の“Kanjoこども園”新棟建設などにこの教えが脈々と受け継がれているのを感じます。

経営理念が明文化されたのはつい最近ですが、名誉理事長は文字にはしなかったものの、経営の基本理念の大切さを痛感しておられ、その根底にあったのが上述の「学生・生徒・園児ファースト」でした。そのためすべての組織、制度やシステムが学生本位で考えられています。現理事長が常に口にする「*For the students*の視座で」もそこに端を発しています。

また、しつけ教育も知識技能教育と同様に重視しておられました。今でこそ「最近の若者は……」という言葉をよく耳にしますが、当時から「しつけ教育」に力を入れていたのは先見の明があったと言えるでしょう。

最後に「実習・実技を重視した教育」ですが、当時から実践的、かつ実用的な人材養成を行う機関として学校を位置付けていました。若者たちの夢と志が、しっかりと育つように大きな責任と誇りを持って、実直に教育活動に邁進する。これこそが学園の“あるべき姿”と言えるでしょう。

名誉理事長の熱い想いについて語るには紙面が足りませんが、読者のみなさまが少しでもその雰囲気に触れられたら幸いです。少なくとも当時の考えが今でもしっかりと根付き、学園の底流に脈々と流れているのを感じていただけたらと思います。



名誉理事長

理事長所感

江端文行名誉理事長は亡くなる数年前から入退院を繰り返しておりました。晩年はずっと病床にありながらも、「わかる授業」そして「快適な教育施設環境」の向上を考え、鉛筆と消しゴムを離さず書き物しておられました。酸素吸入を受けながらも、その様子は使命・義務というよりも喜びや安らぎの表情に見えました。「**授業は生徒に伝わって、生徒がわかって初めて意味がある**」この口癖がいまでも私の耳に鮮明に残っています。“*For the students*”です。

恩 感

理事長・学園長 江端 源治

高校新校舎が完成しました

法人本部 施設部 田堀 富造



2017年春、高校新校舎(高校本館)が完成し、3月30日に引渡しを受けました。

工事中は、先生方と設計事務所、工事会社で何度も使い勝手などを打合せし、時には無理を言ってやり替えをお願いすることもあり、苦勞を重ねた末に出来上がった新校舎です。

関係者の皆さま方の情熱と努力に厚く感謝いたします。

また、工事中は通行路の切替、騒音など学園の皆様には多大なご迷惑をお掛けし、ご理解・ご協力をいただいたことを、誌面をお借りしてお礼申し上げます。

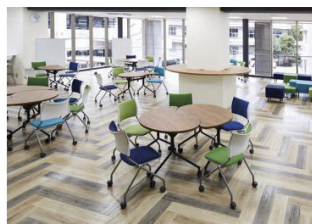
おかげさまで、どこにも誇れる新校舎が完成しました。

新校舎は、主に2・3年生が使用することになりますが、ご尽力いただいた関係者の思いに感謝して、より快適な学びの環境の中で、豊かな高校生活を送られることを願っています。

新校舎の
一部をご紹介します。



普通教室



ラーニングcommons



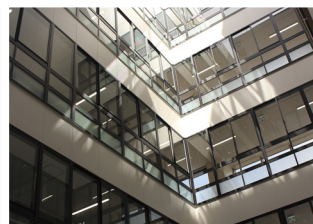
ICT教室



ピアノ実習室



多目的室(7F~8F)



ライトコア

学園広報編集委員会

委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)

委員 山本 円香 (大学事務局)

西岡 奈津美(大学事務局)

高橋 賢悟 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)

植田 陽 (法人本部)

早川 充昭(法人本部)

藤岡 英里花(法人本部)